

# を問う

6月19日の一般質問で  
6人が村の考えをたきました。

## Q. 地震等被害予測調査結果は！

### A. 地震等被害予測が発表され 計画等の見直しをする



井田 晴己 議員

**Q** いつ発生するか  
わからない東海・

東南海・南海地震また南海トラフ大地震に備えて、

では被害想定が出た後に  
検討することとであり  
ました。

今回、愛知県の地震等

のか検証されているのか  
伺います。

飛島村では、住民の生  
命を守るため津波一時避

愛知県が5月30日に被害  
予測調査結果を発表され  
ました。

私は、昨年3月に地震

により日光川右岸堤防の  
耐震化について質問をさ  
せていただきました。

その時、愛知県の回答

また、筏川がどうなる  
のか検証されているのか  
伺います。

この想定を基にすれば、  
日光川の堤防の破壊は免  
れないと考えられます。

被害予測調査結果では、  
過去最大モデルで75%の  
沈下があると想定されて  
います。

難所の建設を推し進めて  
おられますが、愛知県の  
検証に沿った防災計画の  
見直し、防災訓練の実施  
等、今後どのような対応  
を考えておられるかお聞  
かせ下さい。



H25 防災訓練

久野時男 村長



**A** 本村の被害予測  
内容は、「過去地震  
最大モデル」で、全壊及  
び焼失が約500棟、死  
者数40人、「理論上最大想  
定モデル」では約120  
0棟、死者数約100人。

今回は、防災・減災対  
策やその効果も発表され  
て「減災対策をおこなえ

井田 晴己 議員

- ・地震等被害予測調査結果は！
- ・カメムシの共同防除に助成を！

加藤 光彦 議員

- ・総郷共有地の買収を村に要望する
- ・体育館など屋内体育施設のエアコン完備を再度求める
- ・防災用ライブカメラを村内の要所に設置し活用を

渡邊 一弘 議員

- ・液状化対策に補助を
- ・環境シンボルはどこに

伊藤 秀樹 議員

- ・足湯・健康の森を家族連れが利用しやすく
- ・住民の住宅に補助金を  
若手住民の経済的負担を軽く

橋本 渉 議員

- ・介護保険の改悪は飛島村の独自事業で救済せよ
- ・避難所の管理・運営は村の責任で行え

服部 康夫 議員

- ・ペットの避妊手術に助成を

# 策 施

ば、建物被害の約6割、人的被害も6割から8割を減らすことができる。」と報告されました。

日光川及び筏川については、県は耐震調査を実施して、年末までに要注意河川を絞り込み、対策を発表する予定です。

河川堤防については、今後、改修が未実施となっている日光川下流域一部の早期実施を依頼し、日光川水閘門を含めた水系施設全体の改修が早期に完了するよう関係自治体と連携し、要望活動を行っていきます。

また、防災に関しては、避難所の建設を計画的に進め、職員への防災教育の強化、地域における自主防災組織の体制づくり等を進めていきます。

「地域防災計画」「職員行動マニュアル」及び「業務継続計画」についても、県の検証をふまえて今年度に計画等の見直しを予定しています。

## Q. カメムシの共同防除に助成を！

### A. 全域で実施の場合は駆除費用の一部を助成する

井田晴己 議員

飛島村内の水稻は近年高温障害、

カメムシ被害による品質の低下により一等米が少なく多数が二等米であり農家の収入も減少しているのが現状です。

また、カメムシが洗濯物等に付着し、日常生活にも影響がでてきています。

昨年、弥富市鍋田地区では、カメムシに対する共同防除を実施されて被害が減少して成果を上げておられます。

水稻の品質向上のため、農協の指導でラジコンヘリコプターにより水稻のカメムシ防除を共同で実施したらとの提案がありました。

しかし、昨今の米価の低迷、農薬・肥料等の高騰により農家の経費負担増は避けることはできません。

このため、地域単位で共同防除することを条件としてカメムシ駆除費用の一部を助成していただけないか伺います。

飛来し、悪臭等の問題が発生しているという苦情

村 長

平成25年のカメムシ発生による村

内の被害は、着色粒の1等限界を超える0・1%以上となり二等米となったことや、一般住宅等に飛来し、悪臭等の問題が発生しているという苦情

も聞いています。

駆除するための共同防除費用は、10アール当たり3000円程度が見込まれます。

過去には、カメムシの防除とは異なりますが、イネミズゾウムシ等の箱苗防除を実施した農業者に、その要した薬剤費として、10アール当たり700円以内として助成をしました。

ご質問の共同防除の助成については、昨年、共同防除を実施した弥富市鍋田地区では、カメムシによる被害が減少し、成果を上げていることも確認しております。

本村においても、農家の経費負担の軽減、米の等級維持のため適期に広域的に行える共同防除を農協や受託部会・農家でご検討いただき、村内全域で実施していただければ、駆除費用の一部を助成する方向で検討します。

～水稻品質向上・収量安定対策～

斑点米カメムシの防除を心がけましょう。

今年度は過去10年間で最も多くカメムシが確認されています。出穂期に入ると、さながらカメムシの飛来が予想されます。

対策

カメムシは水田周辺の畦畔や土手などのイネ科雑草に生息します。出穂期又は出穂後の除草はカメムシを逆に水田に追い込むことになりますので、出穂の2週間前までに除草をしてカメムシの棲みかをなくしましょう。

畦畔や水田内でカメムシを確認したら、穂揃期(キラップ粒剤は出穂10日前～出穂期)に薬剤防除を実施し、その後も発生が多い場合は7～10日後に追加防除を心がけましょう。

主なカメムシ防除薬剤

薬剤名	希釈倍率(10a当りの使用量)	収穫前日数	使用回数
キラップ粒剤※1	3kg/10a	14日前	2回以内
キラップフロアブル※1	1000～2000倍	14日前	2回以内
スタークル粒剤※2	3kg/10a	7日前	3回以内
スタークル1キロH粒※2	1kg/10a	7日前	3回以内
スタークル豆つぶ※2	250g/10a	7日前	3回以内

※1 1970～80年代の農薬の使用回数:2回以内 (稲穂期までの防除は1回以内)  
※2 ソラニンを含む農薬の使用回数:4回以内 (収穫後の防除及び稲穂期後の防除は合計1回以内、本剤での散布、散布回数、無人への散布は合計3回以内)

農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに他の作物や周辺環境への防除防止に努めましょう。

JAグループ愛知

昨年度のカメムシ防除のチラシ

## Q. 総郷共有地の買収を村に要望する

### A. 村有地と一体的な活用が可能で有用と考える



加藤光彦 議員

Q

竹之郷の集落排水施設の隣に総郷

の共有地があります。この土地は200人以上の地権者があり、これまで民間業者に貸してききましたが、昨年、明け渡しに係る問題で裁判となりました。今年の4月に和解が成立しましたが、今後この土地を維持していくことは様々な困難が予想されます。借主から明け渡しされることを機に、以下の理由により村にこの土地の買い上げをお願い

いするものであります。

・隣地が村有地であること

・この土地はかつて沼地だったことから使途が公園などの平地に限られること

・200人を上回る地権者がいて、公共性が高い土地であること

・地権者の世代交代が進み、取りまとめや維持管理が難しくなってきたこと

これらの事情をご理解いただき、村に買収していただくことを要望します。

A

村長

村として、土地開発基金で保有し



総郷共有地（竹之郷処理場東）

ている土地と一体的な活用が可能で、総郷の土地を取得することは、当該地域の総合的な開発に向けて非常に有用であります。

取得の目的は、当面、第一保育所の仮駐車場として利用する等の案があるほか、将来的には、防

災用施設や地域住民の憩いの場としての公園施設の建設等も可能と考えています。

従来から総郷の土地の取得は、多額の予算を必要としますが、土地の買収が総郷の土地を共有する方の意向であり、また、議会のご理解を得られれば、村として、当該土地の取得に向けて準備を進め、買収価格を検討し提示させていただき、価格が折り合えば、買収に向けて事務手続きを進めていくことになります。

ただし、村では避難所建設、住宅開発等、大規模な事業を控えておりますので、仮に総郷の土地を買収できたとしても、ただちに、開発を開始するものではないことをご承知おき願います。

## Q. 体育館など屋内体育施設の エアコン完備を再度求める

### A. 設置案を示しながら 意見聴取し進めていく

加藤光彦 議員

なうかの問題だと私は思  
います。

私が屋内体育施

設にエアコンの完

備を要望したのは、昨年  
の9月議会の一般質問で  
した。その時の村長答弁  
は「総合体育館は築30年  
が経過しており、修繕が  
必要な場所もあるので改  
修時期を捉えながら情報  
収集をおこない検討して  
いきたい」との内容でし  
た。

その後、この件につい  
て、どのような進捗状況  
になっているのかお尋ね  
します。

地球の温暖化傾向は今  
後も続きます。もはやエ  
アコンを完備するか、し  
ないかという判断よりも、  
いつのタイミングでおこ

涼しさを感じるまでの

空調は必要ないと思いま

すが、運動に適した屋内

気温を確保し、熱中症が

起きないスポーツ環境を

整備していくことは行政

に求められていると思ひ

ます。

また、エアコンを完備  
することは屋内のスポー  
ツ人口の増加や利用の幅  
が広がることも期待でき



ビーチボールバレー

ます。再度、屋内体育施  
設のエアコン完備を求め  
ます。

村長

現在、総合体育

館の空調設置につ

いて検討を進めています。

方法としては、熱中症対

策として体感温度を5度

程下げる方法、冷温水配

管を通して吸熱をして温

度を下げる方法、対流式

冷暖房で全館を冷やす方

法の3通りです。どの方

法も一長一短ありますの

で、今後、議員の皆様や

体育館の利用者の方の意

見等を聞きながら、併せ

て、非構造物の落下防止

調査・対策も含めて進め

ていきたいと考えていま  
す。

## Q. 防災用ライブカメラを 村内の要所に設置し活用を

### A. システムを検討し 有効利用できるように協議する

加藤光彦 議員

Q

海拔ゼロメー  
ター地帯のこの地

域は災害時の初動や避難  
誘導が非常に重要であり  
ます。

堤防の状況及び浸水の  
有無、その他主要道路の  
状況がリアルタイムで把  
握できる防災用ライブカ  
メラを村内の要所に設置  
することで情報収集が遠  
隔でき、適切な初動指  
示や安全な避難誘導が可  
能になります。

自治体によつては、役  
所はもとより個人のパソ  
コンやスマホからも地図  
上のカメラマークをク  
リックすることにより、  
その場所のリアルタイム  
の映像を見ることができ  
る防災システムを構築し  
ているところもあります。  
災害発生直後、限られ  
た役場職員の対応を補完  
するためにも、また住民  
が自分で情報を取り、  
個々の判断で避難する場

合においても役に立つと思います。

災害リスクが高い本村だからこそ、防災ライブカメラを設置し、活用すべきと考えますが、村当局の見解を求めます。

## 村長

**A** 現在の防災カメラの運用は、飛島排水機場新設工事で、カ



下川の水位を監視するカメラ

メラ5台を設置し、その内の4台の映像を光回線で役場に送信しています。

防災の重要箇所であります下川から堤内地の雨水等の排水を監視しています。

東日本大震災では、1万8000人を超える死者・行方不明者を数え、また、約200名の消防団員も殉職し、地域を守るための方策を考え直さなくてはなりません。

海抜ゼロメートル地帯の本村では、災害時にいかに住民を正確な情報により避難させるかが重要になってきます。

また、災害対策本部での防災カメラ映像による監視等、災害対策用のシステムの構築について検討の必要があると考えています。

今後、先進事例を参考にし、本村の防災対策に、より有効に活用できるように、協議を重ねていきます。

## Q. 液状化対策に補助を

## A. 地盤の改良工法、基準作り等の検討に入る



## 渡邊一弘 議員

**Q** 住民の生命を守るために避難所が着々と建設されています。大地震が起きれば必ず液状化になると考えられています。

また、災害対策本部での防災カメラ映像による監視等、災害対策用のシステムの構築について検討の必要があると考えています。

今後、先進事例を参考にし、本村の防災対策に、より有効に活用できるように、協議を重ねていきます。

東日本大震災では、1万8000人を超える死者・行方不明者を数え、また、約200名の消防団員も殉職し、地域を守るための方策を考え直さなくてはなりません。

かさ上げに補助を求めます。

また、大震災が起きた後、液状化で道路が寸断されては復旧、復興が遅れると考えられます。

村の主要道から液状化対策を進めてはと考えますが、いかがでしょうか、お答えください。

## 村長

**A** 本村は、村内全域が軟弱地盤であり、大規模地震等発生した場合は、液状化が危惧されます。

現在、東日本大震災にて被災した地域において、自治体が液状化、地盤改



宅地のかさ上げ

## Q. 環境シンボルはどこに

良等にかかる事業を公共施設に実施し、同時に隣接する民地に対しても一体的に施行を試みています。

本村も、減災化、家屋

の耐震化施策は実施していますが、地盤にかかる

施策についても有効な施策と考え、今後において

事業を実施すべく地盤の改良工法、基準作り、事業の範囲等の検討に入ります。

また、地盤のかさ上げも、過去に本村が経験した災害から地震とともに水害の懸念も拭い去れません。

しかし、盛土造成は埋め立て地同様に液状化現象が起こりうる可能性が高いことから盛土造成についても液状化対策、地盤改良対策と同様に検討していきます。

## A. 環境シンボルを公共施設に設置し意識の高揚に努める

渡邊一弘 議員

Q 村では環境に対するISOの取得

に取り組みがされました。今日までの取り組みと成果、今後の取り組みについてお答えください。

村長

A ISOの認証取得に合わせ、飛島

村全域の水路に多く生息していたメダカをモチーフとして、環境シンボルの「とびくん、しまちゃん」が誕生しました。

メダカを表示した「し

おり・はがき・ピンバック」など啓発グッズの作成、すこやかカレンダー、各種証明書、職員の名刺などにメダカを取り入れ、

住民の環境意識の高揚に努めています。

最近では、定期的に地区の花植え、各戸に花を植えたプランターを設置するなど環境美化活動に取り組む地域が増えてきました。

村では環境保全活動に力を入れており、そのシンボルとしてメダカを各施設に置くことは、非常に有用であると考えます。現在、飛島学園正面玄関にメダカの水槽を設置し、来校者のみではなく、そこで学ぶ児童・生徒らに癒しの効果を与えています。飛島学園のほか、

役場、中央公民館でも水槽を設置しておりますが、飛島学園での効果を踏まえて、今後は他の施設にも設置する方向で検討し、「とびくん、しまちゃん」の説明看板の設置についても住民にわかりやすい表示をしていきます。



役場玄関の  
水槽とメダカ





健康の森「芝生広場」

**Q. 足湯・健康の森を  
家族連れが利用しやすく**

**A. 利用いただけるよう啓発に努める**



伊藤秀樹 議員

**Q** 念願の足湯も完成し、子供連れをよく見かけます。

しかし、健康の森はその維持管理に多くの村費が使われているにも関わらず、閑散として健康の森のネーミングとはほど遠く、宝の持ち腐れになっています。

戸田川緑地のように子供が遊べる場所やバーベキューが出来るようになるなど、足湯と一体となつて家族連れが利用しやすい環境を整える必要

があると思います。

しかし、足湯付近は水はけが悪くそのような利用に適しません。

現状では健康の森も足湯も中途半端な状態です。家族連れが利用しやすい環境を整えるとともに他の活用方法も含め改善をする必要があると思うが、考えをお聞かせください。

**村長**

**A** 健康の森は、平成16年に整備され、散策路や築山を利用して、駅伝の練習や健康ウォーキングで活用するなど

村民への周知を図っています。また、だれもが利用できる憩いの場として足湯を設置しました。健康の森と合わせて多くの皆さんにご利用いただき

たいと思っています。

足湯や芝生広場へは自由に入りができ、仮に芝生広場をバーベキュー等で使用することになれば、火気使用による火災の問題や、使用後のゴミや煙等による景観や施設環境への影響などや、足湯への飲食物の持ち込みによる衛生環境が悪化する

ことも懸念されることから、足湯周辺での火気使用や飲食を伴う利用については、ご遠慮していただきたく考えます。また、芝生広場の水はけ対策としては、来年度に向けて改良する方向で検討するとともに、現在の景観を有効活用して家族連れが利用しやすい環境作りを進めていけたらと考えます。

**Q. 村民の住宅に補助金を  
若手住民の経済的負担を軽く**

**A. 居住用目的の造成土地に限り  
側溝整備は村で実施**

伊藤秀樹 議員

**Q** 定住化促進策として結婚祝い金が支給されることになりました。また、住宅開発も

多くの村費を費やして行われようとしています。

住宅開発に反対する人に話を聞くと「何処の誰が住むか分からないのに何で村の税金を使う必要があるのか」でした。

村外から来てもらうことも必要でしょうが、プライオリティの第一は飛島村民だということです。言い方を変えれば村民が住宅を建てるのに何の恩恵もないのは不公平にならないかです。

定住化促進策として、住宅開発と同様に村民の建てる住宅に補助金を出すとか、若手住民の経済的負担を軽くすることが一番効果的な本来の定住化促進策ではないか。考えをお聞かせください。

## 村長

**A**

現在の渚地区住宅地開発事業は、

村の重点施策として位置づけ、人口増加を図ると同時に、市街化調整区域内における適正な土地利用の誘導と優良農地の保全に配慮する必要があります。

そのための地区計画を策定し良好な住宅地を計画的に整備し、飛島村に住みたいと思われる方の要望に応えながら、将来的に懸念される優良農地の虫食い状態を防ぐなど重要な施策であります。

住宅地開発においての道路、公園整備等は公共事業として村の負担で進め、造成事業費や給水事業費は土地販売価格に転化する計画です。

現在、インフラ整備に関する補助制度は、住宅造成工事に伴う新設側溝補助金、合併処理浄化槽設置費補助金があり、分

家住宅として転用する場合は、この補助制度を活用いただいています。

今回の住宅地開発事業は、優先的に活用してもらう住宅用地の整備であり、分家住宅などによる個別の助成制度とは性質の違う事業であります。

今後は、新設側溝補助金を廃止し、居住用の目的で造成した土地に限り、道路整備事業として実施する方向で検討します。



分家住宅

## Q. 介護保険の改悪は飛島村の独自事業で救済せよ

### A. 第6期介護保険計画で予防給付の見直しや生活支援の充実を盛り込む



橋本 渉 議員

**Q** 国は介護保険や医療体制を見直す法律を作りました。

介護保険の見直しでは利用者負担は増大しサービスは低下します。

負担増では、今まで1割負担だったのが一定以上の所得がある人は2割負担となります。

サービスの低下では、今まで介護保険事業としてやっていた、要支援者が利用しているデイサービスやヘルパー派遣事業

などを、村の事業として行うこととなりました。

また、特養への入居基準も要介護3以上でなければ入れなくなりました。

飛島村は国の冷たい政治から、お年寄りの生活を守るために独自の事業としての介護予防・生活支援サービスの向上を進めるべきです。

利用者の負担増についても補助制度などをつくって軽減すべきです。

## 村長

**A**

平成26年6月18日に医療・介護総合推進法案が可決され、

要支援者向けのサービスの一部（訪問介護及び通所介護）が市町村の地域支援事業に移管し、所得

の多い高齢者の介護保険サービス自己負担割合が2割に引き上げられ、特別養護老人ホームの入所は要介護3以上に限られ、介護施設に入所又は短期入所している方の、食費や居住費の負担を軽減する措置についても、一定の預貯金を有する方については対象外となります。

これらについては、要支援者向けのサービスの一部を地域支援事業に移管することで、市町村間のサービス格差が生じ、

これまで受けていたサービスを受けられなくなる

という懸念もあり、海部津島管内において、介護保険担当課長・担当者情報交換会を定期的に開催し、介護保険事業に係る

意見交換を実施していただきます。

能となります。

今後の村民に対するサービスとして、特別養護老人ホームに入所できなくなる介護度の低い方のうち認知症の方については、本年度中に建設される予定の地域密着型認知症対応型共同生活介護施設に入所していただき、その方に合った生活を送っていただくことも可能となります。

市町村に対しガイドラインの発出を予定しているようですので、それを受けてから第6期介護保険計画に盛り込んでいきたいと思っています。



有する高齢者の補足給付を対象外にすることについては、高所得者や資産を有する方の負担を増やさざるを得ないのではないかと考えます。

平成24年度～平成26年度  
・高齢者保健福祉計画  
・第5期介護保険事業計画

## Q. 避難所の管理・運営は村の責任で行え

## A. 地区の方々との協議をし、運営方法を定める

### 橋本 渉 議員

現在、新しい避難所が作られています。

新しい避難所についても村の責任で行うべきです。地区からの利用要請があった時には許可すべきです。

区に任せるとの声が聞かれています。

本来、避難所の管理・運営は村が責任を持って、やっているのですから、

### 村 長

現在、避難所管理・運営は施設ごとに管理者等が維持管理

を行っており、災害時の備蓄品等についても随時更新を行っています。津波一時避難所の建設計画では、地区の方々と協議をさせていただいています。

内容は、建物の維持管理費用等が発生する部分は村で、運営部分につい

南拠点避難所



では地区でお願いをする。員も犠牲になりました。また、指定管理という選択肢もあります。

各地区で、運営方法は多少異なりますが、地区からの利用要請があれば利用いただくよう考えています。平時から避難所へ足を運び慣れていたとき、有事の際に役立てられればと思います。

飛島村減災ハンドブックを活用いただき、日頃から住民の方々と「自助」「共助」「公助」でお願いをしたい。

東日本大震災では自治体が被災をし、大勢の職

## Q. ペットの避妊手術に助成を

### A. 地域内の開業獣医師等と調整して進める



服部康夫 議員

**Q** 家庭で飼われているペット（犬・猫）は、人の心を癒し、

家族同様に思っている人もあり、動物愛護の立場から、殺処分を減らすために避妊手術に助成を。また、助成はどのくらいか。

村長

**A** 現在、愛知県内13市で去勢・避妊手術補助を実施していますが、海部地域ではありません。

海部地域では、狂犬病予防注射の実施を愛知西開業獣医師連絡協議会と連携を図って実施しており、今回の手術費助成を行う場合には、この連絡協議会とも、調整や協力

依頼等が必要となつてきます。

望まない繁殖による不幸な子犬や子猫が増加し、また、周囲に対する様々な危害や迷惑などを防止し、飼い主のいない犬や猫の繁殖を抑えるため、飼育管理している犬や猫の去勢・避妊手術への村費助成については、近隣の情勢を考慮して進める方向で検討します。



環境省のパンフレット

## 第1回臨時会 4/22

この議会では、特別会計の設置及び予算設定と、一般会計補正予算の審議が行われました。

・住宅地開発用地取得：3億7316万3千円

### 一般会計補正

（第1号）

主として、地域整備基金から繰入をし、宅地造成事業特別会計へ支出します。

### 主な内容

・宅地造成事業特別会計繰出金：9055万円  
・宅地造成事業特別会計貸付金：2億9774万8千円

全て全員賛成で可決しました。

### 住宅地開発に向けて予算始動



渚の住宅開発用地

渚地区の新規住宅地開発のため、特別会計を設け事業を進めます。

宅地造成総務管理事業として3億8830万円を可決しました。

### 主な内容

・新規住宅地開発実施設計委託：1040万1千円

円